

安全・安心・おいしい 参考施肥設計集

土壤環境によって施肥量は大きく変わります。あくまでも目安としてください。

活力ある農業としてしっかり生き残っていくためには、何処にも負けない「品質・食味」の高い農作物の安定生産が不可欠です。粗悪肥料では品質の向上や増収は望めません。農業は他の産業とは違い、技術力をつけていけば「品質×収量」で成果が倍増していきます。

品質の高い農作物は誰もが欲しがります。もちろん海外の市場もあるわけです。

日本は経済発展を続けているアジアの中に先進国として位置しており、高品質な農作物を生産する自然環境や経済環境、国民気質が備わっています。自動車や電化製品が評価されたように、農産物も高い評価を受けると思います。少しずつからでも、希望ある農業に変えていきましょう。

私どもは今までの技術の集積で、成果を出せる自信を持っています。是非ともお手伝いさせてください。ご相談をお待ちしています。

◆温州みかん ◆伊予柑・レモン ◆アマナツ ◆清見オレンジ ◆ハッサク ◆デコポン ◆イチヂク ◆赤ナシ ◆20世紀 ◆桃 ◆さくらんぼ ◆ブルーベリー ◆梅 ◆刀根早生/富有10a ◆マスカット ◆レンコン ◆メロン ◆キュウリ ◆サツマイモ ◆ごぼう ◆レタス ◆水ナス・ナス ◆トマト ◆スモモ ◆ジャガイモ ◆小松菜 ◆大ショウガ ◆ジャンボニンニク ◆トウモロコシ ◆タマネギ ◆里芋 ◆ミニトマト・アイコ ◆ホオヅキ ◆アスパラガス(半促成・露地トンネル) ◆オリーブ ◆ブドウ巨峰 ◆柿

施肥設計のご相談について

北海道から九州・沖縄まで、同じ作物でも地域によって施肥基準が大きく違います。また、畑の土質など情報不足のため施肥設計を作ることは難しい物です。できましたら、現在ご使用の肥料成分や施肥設計、栽培状況などを教えてください。その情報を元に施肥を作らせていただきます。また、繁忙期は対応できない場合がございますので、ご了承ください。

農・健・心

大和 ISM

大和肥料株式会社
健康農産技術研究所

〒661-0967 兵庫県尼崎市浜1-2-30

TEL 06-6499-6826 代表

TEL 06-6499-6827 営農相談室

TEL 06-6499-6842 環境事業部

FAX 06-6499-6829

安全・安心・おいしい有機栽培 標準施用例

* 生産農家の方へ………下記の肥料の標準施用量を「Kg」単位とし、10aあたりに施用する量となります。

* 家庭園芸・花壇の方へ…下記の肥料の標準施用量を「g」単位とし、1㎡の施用する量となります。

(1㎡は新聞紙2枚広げた分の面積)

苗作り	丈夫な苗を作ることは、病害虫や品質などに大きな影響を与えます。 「種まき培養土」「育苗培養土」を利用ください。	プロバイオ・リキッド液肥で追肥してください。												
土作り	土づくりの重要なポイントは柔らかい土にすることです。柔らかい土は空気を含んでおり、水はけも良く、作物は根をしっかりと張ることができます。根がしっかりと張れば、ほぼ成功です。堆肥(腐植)やミネラル、有機質肥料、竹炭や微生物など活用して、微生物を活性化させて、やわらかな土を実現してください。	肥料散布・起耕・整地してから、1~2週間程度期間を取り、定植・播種する。 (微生物の定着安定の期間)												
元肥	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">土作り 「卵殻肥料」</td> <td style="text-align: right;">100~200</td> </tr> <tr> <td>「ヒューマスエナジ」</td> <td style="text-align: right;">100~200</td> </tr> <tr> <td>肥料 「スーパーネイチャープラス」</td> <td style="text-align: right;">200</td> </tr> <tr> <td>「ミネラルエナジ」</td> <td style="text-align: right;">20~40</td> </tr> </table> <p>※施用量は圃場の地力によって加減してください。※「スーパ-ネイチャープラス」は穏やかな肥効が長期間安定して続きます。 ※「ヒューマスエナジ」「ミネラルエナジ」は肝心要の土を作ります。</p>		土作り 「卵殻肥料」	100~200	「ヒューマスエナジ」	100~200	肥料 「スーパーネイチャープラス」	200	「ミネラルエナジ」	20~40				
土作り 「卵殻肥料」	100~200													
「ヒューマスエナジ」	100~200													
肥料 「スーパーネイチャープラス」	200													
「ミネラルエナジ」	20~40													
病害虫の少ない土作り	「椿油粕」「ニムケキパウダー」などの利用で土づくりをして、病害虫の発生が少ない栽培環境(土づくり)を整えて下さい。 「ニムケキパウダー」 60 元肥施用時に畝の上の根の近くの場所に局所施用する。効果を持続させる場合は30日毎に「ニムケキパウダー」 20 根の近くの場所(深さ5cm)に局所施用する。													
微生物	※肥料を施用、整地し、「EM活性液」を土壤消毒のつもりで、50倍希釈で200リットル以上土壤に散布する。(散布後1~2週間してから定植する) 生育途中に2~3回程度、300倍程度で土壤施用、葉面散布していく。土の生命力を活性することが大切です。													
追肥	<p>※追肥は吸収が速く、土に残らない即効性の肥料が適します。 肥料成分を多く吸収しすぎると、病害虫や食味に影響します。</p> <p>即効性アミノ酸の「農産発酵こつぶっこ」や「農産発酵プロバイオ・リキッド」の液肥をお勧めします。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">追肥 「農産発酵こつぶっこ」</td> <td style="text-align: right;">60~100</td> <td style="text-align: right;">1回の施用量</td> <td style="text-align: right;">必要回数</td> </tr> <tr> <td>または</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>追肥 「農産発酵プロバイオ・リキッド」</td> <td style="text-align: right;">200~500倍希釈</td> <td style="text-align: right;">7日~10日毎</td> <td style="text-align: right;">必要回数</td> </tr> </table> <p>※作物の生育速度や土の状態によって肥料を選択してください。 うまく肥料を調節することは、病害虫の発生を減らしたり、おいしさ(高品質)や多収穫に繋がります。</p> <p>※有機栽培では加里成分やミネラル不足となりがちです。加里は果実や根菜の肥大、野菜の結球に必要です。 追肥 「ミネラルエナジ」 60 × 1回 葉が茂ってきたら、「ミネラルエナジ」を与えましょう。 ミネラルは食味の向上、品質向上に期待できます。生育後期が充実し、おいしい野菜が収穫できます。</p>		追肥 「農産発酵こつぶっこ」	60~100	1回の施用量	必要回数	または				追肥 「農産発酵プロバイオ・リキッド」	200~500倍希釈	7日~10日毎	必要回数
追肥 「農産発酵こつぶっこ」	60~100	1回の施用量	必要回数											
または														
追肥 「農産発酵プロバイオ・リキッド」	200~500倍希釈	7日~10日毎	必要回数											
美味追求	さらにこだわりで、おいしい作物を作りたい場合やきれいな花を育てたい場合は ※「おひさま凝縮粉末」の80~120を施用してください。 は硝酸イオンを減らし、おいしい農作物が作れます。是非、お試しください。													



営農相談 畑作・果樹・家庭菜園でお困りのことは?ご相談ください。大和肥料(株) 営農相談室 TEL06-6499-6827

有機質肥料は施用した約半分が作物に利用され、あとの半分は地力として土に蓄えられます。「可給態窒素(地力窒素)」
良い肥料の良い成分が土に残っていくと、質の高い良い作物が育つようになっていきます。良く無い肥料が土に残っていくと、病害虫に苦労したりします。糖度24度のイチゴを無農薬で栽培していた加地農園さんは、特別なことはしていませんが、「スーパーネイチャー」や「おひさま凝縮粉末」を毎年長年使用した結果、毎年糖度が向上していき、うどん粉病がでなくなり、アブラムシにも苦労なくなっていました。

* 生産農家の方へ・・・下記の肥料の標準施用量を「kg」単位とし、10aあたりに施用する量となります。

* 家庭園芸・花壇の方へ・・・下記の肥料の標準施用量を「g」単位とし、1㎡の施用する量となります。(1㎡は新聞紙2枚広げた分の面積)

有機栽培 作物別 標準施用量	元 肥					追 肥				
	土作り	ミネラル	肥料	予防	食味向上	肥料	ミネラル	予防	追肥の施用目安	
	ヒューマス エナジィ	ミネラル エナジィ	ス・パ ネイチャ	ニム パウダ ー	おひさま 凝縮粉末	こつぷっこ	ミネラル エナジィ	ニム パウダー		
	家庭菜園「新育土」5リットル程度									
1	大豆	190	70	100	60	80~120				
2	黒豆	190	70	100	60	80~120		40		土寄せ時
3	小豆	190	70	100	60	80~120				
4	落花生	190	70	100	60	80~120				
5	エダマメ	190	60	100	60	80~120		40×1	20×1	開花15日前
6	エンドウ	190	60	100	60	80~120	50×2	20×2	20×2	開花期、収穫期
7	ソラマメ	190	60	100	60	80~120	50×1	20×1	20×1	茎の伸長期
8	さつまいも	190	60	100	60	80~120		40		植え付け45日後
9	ハツカダイコン	190	40	100	60	80~120				
10	パセリ	190	70	100	60	80~120	100×4	20×4		収穫開始後に
11	ゴボウ	190	60	100	60	80~120	100×2	40×2	40×2	本葉5~6枚頃
12	胡麻	380	70	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	
13	トマト	380	70	100	60	80~120	50×□	20×□	20×□	着果後、20~30日毎
14	スイカ	380	70	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	着果後1回目、一番果収穫後2回目
15	メロン	380	60	200	60	80~120	50×1	20×1	20×1	着果後1回
16	マクワウリ	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	着果後・一番果収穫後
17	トウガン	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	着果後・一番果収穫後
18	カボチャ	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	着果後・一番果収穫後
19	トウガラシ	380	60	200	60	80~120	50×1	20×1		定植15日後早めが勝負
20	サヤインゲン	380	60	200	60	80~120	50×3	20×3	20×3	着莢期、収穫期15日毎
21	ハナヤサイ	380	60	200	60	80~120	50×3	20×3	20×3	活着後出蕾開始期までこ
22	ブロッコリー	380	60	200	60	80~120	50×3	20×3	20×3	活着後出蕾開始期までこ
23	ナ類	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	本葉3枚頃から
24	タマネギ	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	活着後、春先
25	ネギ	380	60	200	60	80~120	50×3	20×3	20×3	定植後30日毎
26	ホウレンソウ	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	20~30日毎
27	シュンギク	380	60	200	60	80~120				
28	レタス	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	本葉7枚、本葉12枚
29	サラダナ	380	60	200	60	80~120				
30	ニンニク	380	60	200	60	80~120	50×2	20×2	20×2	2月 3月
31	ダイコン	380	60	200	60	80~120	100	60	20	本葉3~4枚頃
32	コカブ	380	60	200	60	80~120	100×1	40×1		
33	ニンジン	380	60	200	60	80~120	100×1	40×1	40×1	本葉5~6枚頃
34	ヤマノイモ	380	70	200	60	80~120	100×2	60×2	20×2	5月下、7月下
35	コンニャク	380	60	200	60	80~120	50	60	20	出芽期
36	じゃがいも	470	60	250	60	80~120		40		開花後
37	トウモロコシ	470	70	250	60	80~120	50×3	20×3	20×3	本葉5~6枚頃、間引き後、幼穂形成期
38	ナス	470	70	250	60	80~120	50×□	20×□	20×□	着果後、15~20日毎
39	ピーマン	470	70	250	60	80~120	50×□	20×□	20×□	着果後、20~30日毎
40	キュウリ	470	70	250	60	80~120	50×□	20×□	20×□	着果後、15~20日毎
41	シロウリ	470	70	250	60	80~120	50×3	20×3	20×3	着果後・一番果収穫後・草勢を見て
42	イチゴ	470	70	250	60	80~120	50×□	20×□	20×□	様子を見ながら
43	オクラ	470	70	250	60	80~120	50×□	20×□	20×□	収穫始めより20~30日毎
44	キャベツ	470	70	250	60	80~120	50×2	20×2	20×2	活着後、結球開始期
45	ハクサイ	470	70	250	60	80~120	50×2	20×2	20×2	初期、結球期
46	ニラ	470	70	250	60	80~120	50×5	20×5	20×3	収穫開始後に
47	サトイモ	470	70	250	60	80~120	50×2	20×2	20×2	6月下、7月下
48	セルリー	560	70	300	60	80~120	100×4	40×4	40×4	定植15日毎に

* カルシウムの吸収は病害虫の抵抗性や酵素活性の上でとても重要です。カルシウムを元肥、追肥に使用しましょう。

* 面積に応じた肥料の量を計算する。* 元肥の「ヒューマスエナジィ-」「ミネラルエナジィ-」「ス・パ・ネイチャ-」は全層に施用し、起耕畝立をする。施用後1~2週間後に定植播種する。* 「ニムパウダー」は畝立後、根の近くになる様に、定植・播種位置の表土5cmの深さに筋を切って施用する。* 「おひさま凝縮粉末」は硝酸態窒素を減らし、病害虫被害を軽減し、コクあるおいしい農産物を作ります。特に葉野菜、果菜類や果樹に施用ください。おいしさが増します。* 追肥は作物の生長に応じて施用する。果菜類は着果後から施用する。

<家庭菜園の方へ>

* 栽培する面積を知って施肥量を調べる。新聞紙を広げて2枚分が1㎡です。

* 上記の施用量を「g」とすれば1㎡の施用量となります。* 男性の手で、一握りが約50gの肥料の量になります。* 施用量を守ってください。肥料が多すぎれば硝酸態窒素が多くなり、まずく、健康に良くない野菜になってしまいます。

* 「おひさま凝縮粉末」を施用すれば、おいしく健康的な野菜が収穫できます。

* 【新育土】をご施用の場合は元肥や土づくりに必要な肥料資材がすべて含まれているため、これだけでOKです。

高設・プランター・鉢植えへの施用の目安

土の量	元肥 土と良く混ぜ込む。/g						追肥 ※1回の施用量/g		
	ヒューマスエナジイ	ミネラルエナジイ	スーパーネイチャー+	ニームケキパウダー	おひさま凝縮粉末	「新育土」の場合リットル	こつぶっこ	ミネラルエナジイ	ニームケキパウダー
	家庭菜園 総合土壌改良材「新育土」					で表示			
15L	75	15	40	15	20	0.75L	15	10	5
25L	120	20	65	25	30	1.25L	20	20	5
50L	230	35	125	50	60	2.5 L	40	25	10
75L	335	50	180	75	90	3.75 L	55	40	15
100L	465	70	250	100	120	5.0 L	80	50	20

土の量が多いほど栽培は安定します。できるだけ土を多くして栽培したい。* 卵殻肥料を元肥、追肥に使用していきましょう。
 水はけの良いように、底に荒目の「竹炭」等を入れる。(排水の確保)土の量に従い、上記を目安に、元肥を施用し、土と混和する。
 ニームケキパウダーは後から作物の根の位置に施用する。ヒューマスエナジイ、ミネラルエナジイ、スーパーネイチャー、ニームケキパウダー、おひさま凝縮粉末など単体で施用する方法もあり、また、全てが混合された家庭菜園・総合土壌改良材の「新育土」を施用する方法もある。作物の様子を見ながら、約1ヶ月毎に、上記の表を目安に追肥していく。「ニームケキパウダー」も約1ヶ月毎に追肥して、病害虫の発生しにくい土づくりを行う。

【安全・安心・おいしい農作物 参考施肥設計例10a当り】

◆温州みかん	2月	土壌改良	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジイ	120kg	
	3月	元肥	スーパーネイチャー+	200kg	
			ミネラルエナジイ	40kg	肥大促進・品質向上
	5月	夏肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	樹勢を見て判断
	9月	食味向上	おひさま凝縮粉末	150kg	糖度アップ
	11月	秋肥	農産発酵こつぶっこ	120kg	

※左記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※隔年結果を防ぐため、ヒューマスエナジイで土づくりを行う。
 ※品質・食味向上・病害虫軽減の為に「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2~3カ月前がお勧め)
 ※品質向上に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で収穫後や開花期頃から散布していく。
 ※浮皮対策として「カルシュート」を6月上旬~下旬に3000倍で葉面散布する。

◆伊予柑・レモン	2月	土壌改良	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジイ	120kg	
	3月上旬	春肥	スーパーネイチャー+	200kg	
			ミネラルエナジイ	80kg	
	6月下旬	夏肥	農産発酵こつぶっこ	120kg	肥大促進
	8月下旬	初秋肥	農産発酵こつぶっこ	120kg	肥大促進
		品質向上	おひさま凝縮粉末	120kg	糖度アップ
	11月上旬	晩秋肥	農産発酵こつぶっこ	120kg	

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※4月から収穫まで月に1回「大和濃縮にがり」を1000倍希釈で葉面散布する。花期は避ける。
 ※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2~3カ月前がお勧め)
 ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆スモモ	元肥	スーパーネイチャー+	200kg	
		ミネラルエナジイ	80kg	
	味肥	おひさま凝縮粉末	120kg	収穫2~3カ月前
	お礼肥	農産発酵こつぶっこ	40kg	7~8月下旬 ※PHは土壌を調べて施用する。

◆アマナツ	1～3月	土壌改良材	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジィ	120Kg	
	3月上旬	春 肥	農産発酵こつぶっこ	180Kg	
			ミネラルエナジィ	80kg	
	6月上旬	夏 肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	肥大促進
	10月中旬	秋 肥	農産発酵こつぶっこ	200Kg	肥大促進
			おひさま凝縮粉末	120Kg	糖度アップ

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2～3カ月前がお勧め)
 ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆清見オレンジ	1～3月	土壌改良材	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジィ	160Kg	
	3月上旬	春 肥	農産発酵こつぶっこ	160Kg	
			ミネラルエナジィ	40kg	品質向上
	6月上旬	夏 肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	肥大促進
	10月中旬	秋 肥	農産発酵こつぶっこ	200Kg	肥大促進
			おひさま凝縮粉末	150Kg	糖度アップ

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。
 ※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2～3カ月前がお勧め)
 ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆ハッサク	1～3月	土壌改良材	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジィ	120Kg	
	3月上旬	春 肥	農産発酵こつぶっこ	160Kg	
			ミネラルエナジィ	40kg	品質向上
	6月上旬	夏 肥	農産発酵こつぶっこ	60kg	肥大促進
	10月中旬	秋 肥	農産発酵こつぶっこ	200Kg	肥大促進
			おひさま凝縮粉末	150Kg	糖度アップ

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。
 ※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2～3カ月前がお勧め)
 ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆デコボン	2月上～	土壌改良	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジィ	120kg	
	3月上旬	初春肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	
	4月上旬	春 肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	
			ミネラルエナジィ	60kg	品質向上・肥大
	6月上旬	夏 肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	
	9月上旬	初秋肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	
			おひさま凝縮粉末	150kg	糖度アップ
	11月上旬	晩秋肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※夏肥の施用は樹勢を見て判断する。
 ※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2～3カ月前がお勧め)
 ※品質向上・肥大促進・着色に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆イチヂク	12月～1月	元 肥	卵殻肥料	100kg	
			ヒューマスエナジィ	140kg	
			スーパーネイチャー	200kg	
			ミネラルエナジィ	40kg	
			マインマグN	40kg	
			発酵骨粉	60Kg	
	2月		おひさま凝縮粉末	40kg	
	5月		おひさま凝縮粉末	60kg	

※左記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2～3カ月前がお勧め)※病害虫に困った場合はご相談ください。
 ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。
 ※大玉増収 平均糖度20度以上、最高糖度24度

◆20世紀等	土壤改良	卵殻肥料	100kg	
		ヒューマスエナジイ	100kg	
	礼 肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	
	元 肥	スーパーネイチャー+	200kg	
	春 肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	
	玉 肥	ミネラルエナジイ	80kg	(肥大促進・品質向上)
		おひさま凝縮粉末	120kg	(糖度アップ)

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2~3カ月前がお勧め) ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆赤ナシ等	土壤改良	卵殻肥料	100kg	
		ヒューマスエナジイ	120kg	
	礼 肥	農産発酵こつぶっこ	100kg	(収穫直後)
	元 肥	スーパーネイチャー+	170kg	
	玉 肥	ミネラルエナジイ	40kg	(肥大促進・品質向上)
			おひさま凝縮粉末	100kg

※上記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2~3カ月前がお勧め) ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆桃	土壤改良	卵殻肥料	100kg	
		ヒューマスエナジイ	150kg	
	礼 肥	農産発酵こつぶっこ	80kg	(収穫直後)
	元 肥	スーパーネイチャー+	150kg	
	玉 肥	ミネラルエナジイ	60kg	(肥大促進・品質向上)
	(5月上旬)		おひさま凝縮粉末	120kg

※左記は目安であり、各園地に合わせた施肥を行ってください。※品質向上のために「おひさま凝縮粉末」の施用をお勧めします。(収穫2~3カ月前がお勧め) ※品質向上・肥大促進に葉面散布剤「ヒーロー3号」を1000倍希釈で散布していく。

◆サクランボ

味 肥 お礼肥(7月) ※樹勢によってはもう少し少なめに。※PHは土壌を調べて施用する。	土壤改良	卵殻肥料	100kg	
		ヒューマスエナジイ	150kg	
	元 肥	スーパーネイチャー+	200kg	根の活動期早めに
		ミネラルエナジイ	80kg	
		おひさま凝縮粉末	120kg	収穫2~3か月前
		農産発酵こつぶっこ	80kg	収穫直後 樹勢回復

◆ブルーベリー	180樹相当・目標収量0.8-1 t / 10a			
	元肥(3月中旬)	スーパーネイチャー+	100kg /	おひさま凝縮粉末40kg
	追肥(5月中旬 開花後)	こつぶっこ	20~30kg /	おひさま凝縮粉末40kg
	追肥(8月中旬)	こつぶっこ	20~30kg /	おひさま凝縮粉末 40kg

土壌pH 4.3-4.8に保つ。PHを酸性に保つことは難しく、ピートモス(未処理)を施用していく。
2~3年に一度、枝張りの外側の土の位置に施用すれば良い。ピートモスの購入はご相談ください。
水はけ・水はけの良い土が重要で、水はけの悪い圃場はできるだけ避ける。排水を良くする様に、溝を切ったり、イソライトの施用によって改善することが可能です。イソライトの記述をご参考に。

◆刀根早生/富有

10aあたり	<ポイント> 富有2.5トン、刀根早生3トン程度を目指すなら、窒素量が15~18Kg程度は必要とされている。			
	発芽期~開花期・着花期までは貯蔵養分が頼りである。			
	6月から8月は養分吸収力がきわめて強く、窒素遅効は着果登熟に悪影響を及ぼす。			
	お礼肥を重視し、収穫後早めに施用して、葉のあるうちに樹勢回復を行い、貯蔵養分を少しでも得るように努力する。病害虫の軽減を計るために、ミネラルの吸収を図りたい。			
	追肥は登熟促進、品質向上の為に、おひさま凝縮粉末を施用したい。			
	礼肥(10月上旬)	スーパーネイチャー	100kg	
	元肥(2月上旬)	スーパーネイチャー	100kg	
		ミネラルエナジイ	50kg	
	追肥(6月下旬)	おひさま凝縮粉末	120kg	
	1月 有機石灰	卵殻肥料	100kg	

◆梅 有機栽培肥培管理

有機栽培、特に発酵肥料での肥培管理は化学肥料のように、NPKやその他の肥料成分を施して、肥料で収穫する考えとは少し違ってきます。作物栄養のみではなく、土壌微生物や小動物等の生物活性化を図ったり、自然界や空気中等にある肥料成分や要素等を取り入れるための触媒的機能の活性化を図ったり考えます。

また、発酵有機肥料は植物の吸収率や同化作用等の植物利用効率が化学肥料とは全く違い、化学肥料での肥料要素の計算では測れないところがあります。有機栽培では畑土壌の肥沃度(栄養、生物、物理的機能)によって、全く違う結果となってしまいます。正確に実際に施肥(育土)をしていきながら、施用量を増減して調節していくことが望ましいです。まずは、基本系(たたき台)をご案内申し上げます。

礼肥(7~8月) 収穫後、早い方がよい。いち早く樹勢回復させ、落葉までに光合成を盛んにさせて、貯蔵養分を増やしていく。

農産発酵こつぶっこ 40~60kg 「選択」

元肥(11~12月) 気温が下がる12月頃となると休眠期となるため、気温がある早目がよい。栄養補給の中心時期。Mg欠乏やホウ素欠乏を出さないように、ミネラルエナジイを施用する。

卵殻肥料 100kg / スーパーネイチャー+ 200kg 「必須」

ミネラルエナジイ 60~100kg 「選択」

実肥(4月) 開花後、品質的な向上(食味の向上)や、肥大促進を狙って、おひさま凝縮粉末を施用したい。みかんでも糖度2度程度は向上したケースもある。品質向上や病害虫の抑制にも働く

おひさま凝縮粉末 120kg 「選択」

後は、浅根性のため早害を受けやすく、堆肥や糞、ヒューマスエナジイでの土壌改良(200kg/10a)を行っていく必要がある。

◆マスカット

<土作り>

卵殻肥料	5袋	100kg	
ヒューマスエナジイ	10~15袋	200~300kg	
ミネラルエナジイ	3~5袋	60~100kg	
スーパーネイチャー	8~10袋	160~200kg	11月

※ヒューマスは地力に合わせて加減する。良い生産の元になります。※樹勢を見て施用量を調節する。

※ミネラルは加里やカルシウム、マグネシウム、微量元素など有機栽培に不足する成分の供給です。樹勢や食味が変わる。

<糖度アップ> おひさま凝縮粉末 6袋・・・食味向上のために 8月中下旬

<病害対策> どんな虫や病気に困っているかわかりませんので、そのつどご相談ください。 カイガラ虫/ヒカリ1号

◆レンコン露地栽培

土づくり 卵殻肥料100kg/ヒューマスエナジイ100kg

元肥 スーパーネイチャー200kg/ミネラルエナジイ 60kg/おひさま凝縮粉末60kg (品質向上・増収)

植代掻き(植付け)・・・深水代掻き (水田抑草対策を参照してください) 雑草を鋤きこむ。

抑草対策・・・・・・・・代掻きをしてから、雑草種子が発芽しないうちに(5日以内)、植付けを済まし、「農産発酵こつぶっこ(追肥①)」を表層施用する。

(溜水管理)・・・・・・・・水は10~15cm程度の深水溜水管理とする。溜水管理とは掛け流しにせずに、減った分だけ水を継ぎ足し、水位を5cm以下に絶対下げないように、水管理する方法です。土の表層だけを強還元状態として、雑草発芽を抑制します。水に溶けた肥料養分を薄めないように水管理をします。薄まった場合は「こつぶっこ」を追肥していく。

追肥①(抑草対策) 農産発酵こつぶっこ 100kg 表層施用

追肥②(6月中旬) 農産発酵こつぶっこ 100kg 表層施用/ ミネラルエナジイ100kg/おひさま凝縮粉末60kg

※病害虫がひどい場合はご相談ください。

※浮草、藻類などに困った場合も、ご相談ください。畑の鉄人の施用で青子が対処できるケースがあります。

畑の鉄人を施用すると、還元が悪臭が少なくなり、肌の白いレンコンができます。

※収穫後すぐに施用して、還元防止のために灌水を続けずに適度な土壌水分で耕うん回数を増やし、土壌へ酸素補給を行い、土壌と充分になじませておく。

◆アールスメロン栽培

土壌改良剤 卵殻肥料100kg / ヒューマスエナジイ- 200kg

病害虫対策 ニームエナジイ 60kg

元肥 スーパーネイチャー200kg / ミネラルエナジイ 60kg / おひさま凝縮粉末 80kg

追肥 樹勢を見ながら、追肥が必要な場合は導入する。

農産発酵こつぶっこ 50~100kg 1回の施用量 / おひさま凝縮粉末 40kg

病害対策 ニームパウダーを1ヶ月ごとに20kg/10a畝の肩に施用して行く。病害虫対策。

◆ハウスキュウリ

●気温・水温に注意をする。(冷涼な気温を好む)

- 10 0 10 20 30 40℃

凍死 生育停止 最適温 弱ってくる

●乾燥に弱い。・・・モミガラはあまり投入せずに、「ヒュ-マスエナジィ」を投入する。

●生育テンポが速く、肥培管理(追肥)、水管理に注意する。常にキュウリを観察して、温度や水分、肥料分を調節しながら、キュウリにとって最適な温度と湿度を保つよう管理ください。キュウリに愛情を持つこと、畑や土に愛情を持つこと、食べる人に、農業に愛情を持つことが最も大切と思います。

基本は土作りです。排水、保水、保肥などの物理性や過不足がない肥料成分やミネラル、有機物や有用な(微生物など総合的なバランスの取れた土が基本です。ハウスでは水の動きが下から上で塩類集積や連作障害等が起きやすく、力を入れて土作りをしてください。キュウリのパターンとすれば「葉カビ」「うどん粉病」が発生して、樹勢を落としてダメになるケースが多く、対策としては、ハウス内の湿度に注意してください。「おひさま凝縮粉末」を元肥・追肥に利用していけば樹勢の維持管理がしやすく、病気も少なく、高品質多収穫につながります。「ヒーロー-3号(鉱物葉面散布剤)」を散布して、病害菌の侵入を防ぐように細胞壁の強化を図ることも有効です。

元肥	選択	卵殻肥料100~200kg / 選択	ヒュ-マスエナジィ100~200kg
	必須	スーパーネイチャー + 200kg / 必須	ミネラルエナジィ60kg
	選択	おひさま凝縮粉末 80kg	
追肥	必須	こつぶっこ 60~80kg	1回の施用量 必要回数
	必須	ミネラルエナジィ 20~40kg	1回の施用量 必要回数
	選択	おひさま凝縮粉末 20kg	1回の施用量 必要回数

◆サツマイモ

窒素を少なく、りん酸、加里、苦土、微量元素(ミネラルエナジィ)をしっかり効かせる。鶏糞や牛フンの施用は遺伝子組換え特有の腐敗分解により、窒素が先行し、品質低下や病害虫などの硝酸イオンの弊害が起こります。品質は繊維が多く、パサパサで喉に詰まる芋となります。ミネラルの絶対不足です。甘みが強く、しっとりクリ-ミ-なおいしいお芋作りは「ミネラルエナジィ」の施用がポイントになります。また、食味向上の為に「おひさま凝縮粉末」を施用したい。

コガネムシ対策としてニ-ムケ-キパウダー100kg/10aの土壤施用があります。草木灰で防げたという報告もある。

元肥	選択	カルシウム 卵殻肥料100~200kg / 選択	土づくり ヒュ-マスエナジィ100kg
	必須	有機栄養 スーパーネイチャー + 80~100kg / 選択	食味向上 おひさま凝縮粉末80~100kg
	必須	肥大品質向上 ミネラルエナジィ 100kg	

砂質土壤は品質は良いが、収量は出ない。粘土は収量は上がるが、品質はいまいち。

※サツマイモ苗を「ミネラルエナジィリキッド」の2000倍希釈液に5~10時間浸漬(切り口より2~3cmの深さ)、吸水(水あげ)させて定植したら、通常平均したら1弦で10本程度の芋の付きが、最高25本程度増えていると報告があります。

◆ごぼう栽培

元肥	選択	ヒュ-マスエナジィ200kg / 卵殻肥料 100kg		
全層	必須	スーパーネイチャー + 200kg / 必須	ミネラルエナジィ60~100kg / 選択	おひさま凝縮粉末60kg
追肥	必須	こつぶっこ40~60kg	土寄せ 発芽1カ月後	
	必須	ミネラルエナジィ20kg		
	選択	おひさま凝縮粉末20kg		
追肥	必須	こつぶっこ40~60kg	土寄せ 梅雨明け後	
	必須	ミネラルエナジィ 20kg		
	選択	おひさま凝縮粉末 20kg	食味向上の為に「おひさま凝縮粉末」を施用したい。	

◆レタス

育苗「種まき培養土」「プロバイオリキッド」液肥 500倍 7~10日毎に施用する。

本田	元肥	必須	卵殻肥料100kg / 必須	スーパーネイチャー + 200kg / 必須	ミネラルエナジィ70kg	
		選択	ヒュ-マスエナジィ200kg	選択	ニ-ムパウダー-60kg	マルチをする。

ド口はねを抑え (欠株防止)

◆シヤガイモ 暖地 普通栽培

元肥	選択	土づくり	ヒュ-マスエナジィ 100kg / 必須	有機栄養	スーパーネイチャー + 200kg
		必須	肥大品質向上	ミネラルエナジィ 100kg	

全層施肥、もしくは条施肥 全量元肥としてポリマルチをして、肥料の流亡防止、生育促進、生育期間の短縮、抑草、土の固結防止に役立つが、萌芽後の霜害に注意する。

水はけが良いことが条件となる。アルカリ土壤はそうか病が発生する可能性があるが、有機栽培では病害虫の心配は少ない。また、食味向上の為に「おひさま凝縮粉末」を施用しても良い。

◆水ナス・ナス

「元肥」	(選択) 卵殻肥料	100kg	
	(選択) ヒューマスエナジィ	160~200kg	多い方が良いが無理のない程度
	(必須) ミネラルエナジィ	100kg	微量元素・加里・カルシウムの供給
	(必須) スーパーネイチャー+	200kg	元肥
	(選択) おひさま凝縮粉末	80kg	食味・品質・増収・成癆防止・樹勢回復 (元肥と追肥に)
「追肥」	(選択) おひさま凝縮粉末	80kg	食味・品質・増収・成癆防止・樹勢回復
	(選択) 「プロバイオリキッド」	様子を見ながら、500倍希釈で 7~10日毎に施用してください	
	(選択) または 農産発酵こつぶっこ	50~100kg/1回の施用量	様子を見ながら
			(おひさま凝縮粉末を併用すれば良い)
	(必須) ミネラルエナジィ	40kg	様子を見ながら

◆トマト

「元肥」	(選択) 卵殻肥料	160kg	
	(選択) ヒューマスエナジィ	200kg	多い方が良いが無理のない程度
	(必須) ミネラルエナジィ	60kg	微量元素・加里・カルシウムの供給
	(必須) スーパーネイチャー+	100kg	元肥
	(選択) おひさま凝縮粉末	60kg	食味・品質・増収・成癆防止・樹勢回復
「追肥」	(選択) おひさま凝縮粉末	60kg	食味・品質・増収・成癆防止・樹勢回復
	(選択) 農産発酵こつぶっこ	50kg	1回の施用量×数回
	(選択) 卵殻肥料	60kg	
	または (選択) 農産発酵プロバイオリキッド	で7~10日毎に施用してください。500倍希釈	
	(必須) ミネラルエナジィ	20kg	様子を見ながら

※トマトは元肥を入れないでとか言うけれども、元肥が入っていないとダメ。直根性のため、少々追肥を入れても中々効かない。少し多いくらいにして、しっかりした木を作れば、多収穫につながる。

※「元肥」全層施用 定植の2週間以上前

※スーパーネイチャー+ は青枯病等の土壌病害の抑制に成果が出て、大阪府農環研で試験を実施している。

※おひさま凝縮粉末は樹勢回復、維持や品質・増収にも働き、是非施用したい。後半に樹勢の衰えから害虫の発生があるので、衰える前におひさま凝縮粉末をこまめに施用しながら、樹勢を維持したい。

※有機栽培に適する「生きた土」とするため、EM活性液を200L/50倍希釈で施用したい。(微生物の立上げ)

※農産発酵プロバイオリキッドは窒素のみの液肥のため、様子を見ながら「ミネラルエナジィ」を20kgづつでも追肥したい。

◆露地栽培 大ショウガ

元肥	卵殻肥料	100kg		追肥①(7月頃)	農産発酵こつぶっこ	120kg
	ヒューマスエナジィ	80kg	植付14日前		おひさま凝縮粉末	60kg
	ニームケーキパウダー	120kg	病害対策	追肥②(8月頃)	農産発酵こつぶっこ	60kg
	スーパーネイチャー+	100kg				
	ミネラルエナジィ	100kg				
	おひさま凝縮粉末	120kg	品質向上・増収			

◆トウモロコシ

元肥	選択	卵殻肥料	100kg		
	選択	ヒューマスエナジィ	100~200kg		
全層	必須	スーパーネイチャー+	200kg		
	選択	おひさま凝縮粉末	60kg		
	選択	ニームケーキパウダー	60kg	(アワノメイガ、アブラムシ対策) 畝の上に施用	
追肥	1回目	本葉5~6枚頃	/	2回目 間引き後 /	3回目 幼穂形成期
必須		こつぶっこ	50kg×3回		
選択		おひさま凝縮粉末	20kg×3回	(60kg 1回にまとめても良い)	

※アワノメイガ対策として、穂が出たらニームケーキパウダーを穂に振りかけて対応したり、フローラルフローラを散布して対処していることもある。

◆ジャンボニンニク 特別設計(巨大設計)

元肥	必須	卵殻肥料	160kg/必須	ヒューマスエナジィ	200kg/全層
	必須	スーパーネイチャー+	200kg/必須	ミネラルエナジィ	100kg
	選択	おひさま凝縮粉末	40kg		
追肥	必須	こつぶっこ	100kg/必須	ミネラルエナジィ	50kg/ 選択 おひさま凝縮粉末 40kg 2月 3月

◆タマネギ栽培

育苗/1a

選択	卵殻肥料	20kg	
選択	ヒューマスエナジィ	40kg	
選択	おひさま凝縮粉末	12~15kg	畝施用
必須	ミネラルエナジィ	12kg	(病気の備え)
必須	こつぶっこ	20kg	
必須	ニムケキパウダー	10~20kg	(根切り対策) 畝立後、表層施用・軽く鋤込む
本田/10a「元肥」	必須	スーパーネイチャー+	200kg
	必須	ミネラルエナジィ	80kg ベト病対策等(細胞組織を固くする)
	選択	ヒューマスエナジィ	200kg (土づくり)
	選択	卵殻肥料	100kg

※元肥に「ミネラルエナジィ」の代わりに「おひさま凝縮粉末」を120kg施用しても良い。甘みが強くなり玉太りにも良い。

「追肥①」	必須	こつぶっこ	60kg	1~2月頃
「追肥②」	選択	こつぶっこ	60kg	3月頃までに(生育を見て)
	必須	ミネラルエナジィ	60~80kg	3月 卵殻肥料 40kg

(加里成分の供給で肥大促進とカルシウムとホウ素の吸収で細胞壁を強化しベト病等に備える)

※追肥①②で窒素が長く効くとベト病の危険があり、また寒い時期なので「農産発酵プロバイオリキッド」の液肥で追肥していくと良い。

◆無農薬・有機栽培 小松菜 周年栽培 目標・・・年間10回周年栽培

「圃場整備」 土の高低がないように、平均してフラットな地面を作り、水管理がしやすいようにする。

「雑草対策」 毎回、収穫した後にプロパンバーナーで草や土をあぶる。何回も処理するので草や害虫も処理できる。

土作り「元肥」	卵殻肥料	100kg	
	ヒューマスエナジィ	20kg×10袋	・良質の堆肥を施用しながら年間1回の施用とする。
	ミネラルエナジィ	20kg×3袋	
	スーパーネイチャー	20kg×10袋	・初回

遺伝子組換えや廃棄物などの問題があるのモ市販堆肥は避けた方が良く、自家製堆肥を勧めます。無理な場合はヒューマスエナジィの施用をお勧めいたします。

栽培を繰り返す毎に、生育の様子を見ながら施用量を減らして行く。施用された栄養分の1/3~1/4は形を変えて土に蓄積されていく。その作の肥料(栄養)を与えるのではなく、小松菜がすくすく育つ土を作ることに心がける。土の中の微生物や小動物が増え、土や畑の生命力を上げていくことが大切です。そうすると、天敵が増え、害虫被害が減る。

椿油粕 20kg×2~3袋・・・毎回施用する。(予防として)

施用を継続して、ヨトウ、ハモグリ、根きり虫などの被害を無くして行く。「ニムケキパウダー」を施用して、土壤病害を減らしていく方法もあります。

「起耕」→「畝作り」 EM活性液 50倍 200リットル以上土壤灌水「土壤消毒」

播種

土ができるまでは、施肥してから1週間程度あけて播種する。土ができれば、直ぐに播種しても問題ない。

播種したら、通気性のあるシート(不織布)を畝にかける。

追肥 発芽したら、畝に筋を切って、追肥を施用する。

農産発酵こつぶっこ 20kg×2~3袋程度 10Lジョロの先を取り、運動会でラインを引くように線状に施用する。

ミネラルエナジィ 20kg×1袋

パオパオ等でトンネルを作る。(害虫予防) 出荷1週間前にパオパオ等はずし追肥する。

農産発酵こつぶっこ 20kg×2~3袋程度 ラインを引くように株間に線状に施用する。

ミネラルエナジィ 20kg×1袋

収穫

簡単に書いてみましたが、実際は畑の癖や人の癖、様々な問題点が出てきたりして、一つ一つ対処していった初めて出来るものです。やりながらでしか、できないわけです。ご了承ください。

◆里芋

元肥	卵殻肥料	100kg	追肥①(本葉6枚頃)	農産発酵こつぶっこ80kg+おひさま凝縮粉末40kg
	ヒューマスエナジィ	120~200kg	追肥②(本葉8枚頃)	農産発酵こつぶっこ100kg+ミネラルエナジィ40kg
	ミネラルエナジィ	60kg	追肥③(本葉10枚頃)	ミネラルエナジィ 80~100kg
	スーパーネイチャー	200kg		
	おひさま凝縮粉末	+ 120kg	品質向上・増収	全層施用

◆ミニトマト アイコ			
元肥	選択	ヒューマスエナジィ	100~200kg
		卵殻肥料	100~200kg
全層	必須	スーパーネイチャー+	100kg
		ミネラルエナジィ	60kg
選択	おひさま凝縮粉末		60kg (土壌中)
	おひさま凝縮粉末		60kg (畝の肩)
追肥	着果後、様子を見て「農産発酵プロバイオリキッド」500倍		

◆ホオツキ 「元肥」土壌PHを調べて、酸性が強よいようであれば、貝化石を施用する。

選択	土づくり	ヒューマスエナジィ	200kg
必須	有機栄養	農産発酵スーパーネイチャー+	200kg
必須	ミネラル	ミネラルエナジィ	60kg
選択	色艶向上	おひさま凝縮粉末	60kg
選択	花付き	発酵骨粉	40kg

「追肥」3月中下旬ごろより追肥

必須	有機栄養	農産発酵こつぶっこ	40kg
----	------	-----------	------

選択 色艶向上 おひさま凝縮粉末 20kg × 数回 様子を見ながら施用していく。白絹病の菌は

地表から地下5cmぐらいのところにはいけませんので、土壌を天地返しをして、菌を地中深く封印すれば発生しなくなります。竹酢液を50~100倍程度に希釈し、5リットル/m²施用する。

スリップスにはおひさま濃縮エキスを20倍で夜朝(虫の活動が遅い時間)に散布する。

◆アスパラガス 半促成栽培

土づくり	良質な堆肥のみ施用		
	無い場合はヒューマスエナジィ200~300kg		
		卵殻肥料	100~200kg
PH強制	土壌のPHを調べたうえで貝化石を施用する。		
元肥		農産発酵スーパーネイチャー+	260kg
		ミネラルエナジィ	20kg
追肥3月		農産発酵こつぶっこ	20~40kg
	お礼肥4月	農産発酵こつぶっこ	60kg
	おひさま凝縮粉末		60kg
追肥5~6月	農産発酵こつぶっこ40kg × 2回施用		
		ミネラルエナジィ	20kg
		おひさま凝縮粉末	60kg 追肥の初めに1回施用
	※追肥は農産発酵スーパーネイチャープラス		
	またはプロバイオリキッドの施用でも良い。		
追肥7~8月	スーパーネイチャープラス	60kg	× 2回施用
追肥9~10月	スーパーネイチャープラス	40kg	× 2回施用
	おひさま凝縮粉末	60kg	追肥の初めに1回施用

※追肥はプロバイオ リキッドの施用でも良い。

病害虫防除

ナメクジ・カタツムリ・・・椿油粕の土壌表面施用

アザミウマ・ハダニ・アブラ虫・・・彩葉コート(2000倍)

ネキリムシ・・・ニームケーキパウダーの施用

堆肥の品質によって栽培は大きく影響が出ます。未完熟の畜糞堆肥の施用は病害虫の大量発生が起こります。品質の良い堆肥は利用価値がありますが、畜糞堆肥ならば施用しない方が得策です。良い堆肥の供給を検討していきます。基本は元肥を少なめに、追肥を養分吸収状況に合わせてこまめに施用することです。品質収量を向上させるためには、光合成同化産物(貯蔵養分)を何時も維持しなければなりません。5~6月、9月以降に同化産物が減少する時期があり、この時期を乗り越え貯蔵養分をため込むために「おひさま凝縮粉末」の施用が高品質多収量のポイントとなります。また、各種ミネラルを過不足なく供給するために、「ミネラルエナジィ」を春と秋の収穫時期の前に供給する必要があると考えます。後は実際栽培しながら、樹勢や病害等の報告を受けながら、対策していけば良いと考えます。

◆オリーブ施肥

元肥3月上旬	選択	ヒューマスエナジィ	200kg
	必須	スーパーネイチャー+	200kg
	必須	ミネラルエナジィ	60kg
登熟収穫の2~3月前	選択	おひさま凝縮粉末	120kg
お礼肥	必須	農産発酵こつぶっこ	100kg

※アルカリ性を好む PH6.8目標 貝化石200~300kg施用

※排水性を確保する。粘土質は不可。溝をほる。

※樹齢によって加減してください。

◆アスパラガス 露地トンネル

※保水性(水管理を向上する)の向上のために、スーパーココの施用

3月上旬	農産発酵スーパーネイチャープラス	200kg	
6月中旬	農産発酵スーパーネイチャープラス	200kg	
8月	追肥 農産発酵こつぶっこ	60kg	追肥は様子を見て2~3回
	おひさま凝縮粉末	60kg	
9月	追肥 農産発酵こつぶっこ	60kg	
	おひさま凝縮粉末	60kg	

放置畑の修復と言うことで、初年度として「スーパーネイチャープラス」の施用で対応すればと思います。

土ができてきて、草勢が戻ってくれば、3月上旬に「こつぶっこ 100kg検討」

春の収穫終了後「スーパーネイチャープラス 200~300kg」、収穫時の追肥に「こつぶっこ」と「おひさま」を1か月毎に施用していけば良いと考えます。

春の収穫終了後「スーパーネイチャー200~300kg」「ミネラルエナジィ 70kg」の施用でも良いです。

終盤の品質の維持や次年度の春の収穫を良くするために「おひさま」の追肥は有効と考えます。

アスパラガスは土の柔らかさ、保水性(水管理を楽にする)のために、スーパーココの表層施用が良いと思います。

保水性が向上し、夏の水管理が楽になれば、「ヒューマスエナジィ」を施用して、エネルギーを補給する。

また、露地栽培の場合、立枯れ、茎枯れなどの病害があるため、病害抑制、雑草対策、品質向上、柔らかい土づくりのために竹チップの表層施用をお勧めします。注意点としてC/N比高いため、鋤き込まない方が良いと思います。また、竹チップの上に「こつぶっこ」を施用しても効果が薄く、竹チップを外して施用してください。

◆りんご栽培 ふじ

元肥3月上旬	選択 ヒューマスエナジィ	200kg
	選択 卵殻肥料	100kg
	必須 スーパーネイチャー+	100kg
	必須 ミネラルエナジィ	30kg

登熟獲の2~3月前 選択 おひさま凝縮粉末 120kg

※ミネラルエナジィリキッドの散布は光合成強化と未消化窒素の消化に働き、生育促進、病害虫予防につながる。

※竹酢液の定期的な散布は病害虫予防となる。蛾類はニオイに誘引されて飛来するので、臭いの強い竹酢液や

フローラルフローラの施用効果が期待できる。

※毛虫、アメリカシロヒトリ、小さな虫は彩葉コート2000倍。カイガラムシ ヒカリ1号 1000倍

◆ブドウ巨峰

元肥11月	選択 ヒューマスエナジィ200kg	／必須 スーパーネイチャー+	100~160kg
	必須 ミネラルエナジィ40~60kg		

登熟収穫の2~3月前 選択 おひさま凝縮粉末 120kg / お礼肥 必須 農産発酵こつぶっこ40kg

◆ブドウ マスカット、ベリーA、キャンベル、アーリー、デラウェア

元肥11月	選択 ヒューマスエナジィ200kg	／ 必須 スーパーネイチャー+	200kg
	必須 ミネラルエナジィ 60kg		

登熟収穫の2~3月前 選択 おひさま凝縮粉末 120kg / お礼肥 必須 農産発酵こつぶっこ60kg

※登熟が遅れる圃場の場合はスーパーネイチャー+の代わりにこつぶっこを使用する。

※ミネラルエナジィリキッドの散布は光合成強化と未消化窒素の消化に働き、生育促進、病害虫予防につながる。

※竹酢液の定期的な散布は病害虫予防となる。蛾類はニオイに誘引されて飛来するので、臭いの強い竹酢液やフローラルフローラの施用効果が期待できる。

※毛虫やカイガラムシ、小さな虫はおひさま濃縮エキスで対処できる。

※毛虫、アメリカシロヒトリ、小さな虫は彩葉コート2000倍。カイガラムシ ヒカリ1号 1000倍

◆柿 西村早生、伊豆、早秋

土づくり 土壌PHを調べてみて、強酸性であれば貝化石を施用する。PHは5.8程度が良い。

「選択」ヒューマスエナジィ 200kg

腐植質が乏しく、保肥力(CEC)が低い土壌では折角の養分の利用も乏しくなる。

少しずつでも、できる範囲で土づくりをしたい。

元肥 「必修」スーパーネイチャー+ 160kg 2月下旬~3月上旬

「必修」ミネラルエナジィ 40kg

追肥 「選択」おひさま凝縮粉末 120kg 食味向上と肥大促進。6月下旬~7月中旬

追肥 「必修」農産発酵こつぶっこ 40~50kg お礼肥・樹勢回復 10月上旬

※松本早生富有・富有のむ追肥は7月上旬に「おひさま」と「こつぶっこ」を両方施用する。※太秋は元肥の「スーパーネイチャー+」を200kg施用する。

※ミネラルエナジィリキッドの散布は光合成強化と未消化窒素の消化に働き、生育促進、病害虫予防につながる。

※竹酢液の定期的な散布は病害虫予防となる。蛾類はニオイに誘引されて飛来するので、臭いの強い竹酢液やフローラルフローラの施用効果が期待できる。

※毛虫やカイガラムシ、小さな虫はおひさま濃縮エキスで対処できる。